

令和 7 年度 （一社）長野県病院薬剤師会 学術大会 のお知らせ

（一社）長野県病院薬剤師会 会長 内藤 隆文

仲秋の候、先生には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より（一社）長野県病院薬剤師会の活動にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

今年度の（一社）長野県病院薬剤師会（以下、本会）学術大会では、午前の部のテーマに「他職種や地域医療機関との良好な関係の作り方」を掲げ、基調講演として萱野勇一郎先生にご講演いただきます。その後のシンポジウムでは 3 名の先生にご登壇いただき、総合討論・意見交換を通じて参加者に少しでも役立てる内容にしたいと考えています。午後の部は一般演題として、口頭発表、ポスター発表を準備いたしました。県内の若手薬剤師を中心に日頃の業務や研究成果を発表する絶好の機会であり、他施設との情報共有を図る場でもあります。是非多くの先生方のご参加をお待ちしております。

尚、各施設の所属長におかれましては、学術大会に多くの薬剤師がご参加いただけますよう、新人薬剤師をはじめ、若手から中堅薬剤師、更にはベテラン薬剤師まで幅広くお声がけいただき、ご配慮くださいますようお願い申し上げます。

- 日時：令和 7 年 11 月 30 日（日） 10:00～16:15 （受付開始 9:30～）
- 会場：松本市勤労者福祉センター 〒390-0811 長野県松本市中央 4 丁目 7-26
- 参加費：1,000 円 （長野県病院薬剤師会会員および長野県薬剤師会会員）
3,000 円 （上記以外の非会員）
- 申込締切：令和 7 年 11 月 25 日（火） **締切厳守でお願いします。当日の受付はありません。**
- 申込方法：参加を希望する方は、以下の URL または QR コードより「アスヤク L I F E 研修」にアクセスして事前に参加登録を行ってください。

<URL>

<QR コード>

<https://kenshu.asuyaku.life/trainings/2385>



- ・ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修単位を希望する方は、事前に日病薬会員管理システム「シクミネット」に薬剤師免許証の薬剤師名簿登録番号の登録が必要です。
- ・ 参加登録は、お一人ずつお願いします。
- ・ 申込間違い、キャンセル等に伴う参加費の返金はありませんのでご了承ください。
- ・ 本会からの領収書は発行いたしません。振込明細等をもって領収書に代えさせていただきます。
- ・ ご登録いただいた内容は、研修単位申請のため本会事務局へ情報提供をさせていただきます。
- ・ その他、本研修に関する連絡以外の目的では使用いたしません。

■ プログラム

時間	内容
10:00～10:15	学術大会開会式
【午前の部】	テーマ：他職種や地域医療機関との良好な関係の作り方
10:15～11:15 (60 分)	基調講演 座長：小口正義 業務部長（諏訪赤十字病院） 演者：萱野勇一郎先生（大阪府済生会 中津病院薬剤部 薬剤部長） 演題：「他職種や地域医療機関との良好な関係の作り方？←そのコツ教えます」
11:15～12:30 (75 分)	シンポジウム タイトル：「地域医療連携」 座長：御子柴雅樹 業務委員長（松本市立病院） 清野義一 医療安全対策委員長（北信総合病院） 演者：鈴木涼子先生（県立木曽病院薬剤部 薬剤部長） (11:25～11:40) 演題：「患者さんをまんやかに ～医療 DX と地域連携を味方につける～」 演者：水谷妙子先生（諏訪赤十字病院薬剤部 医薬品情報課長） (11:40～11:55) 演題：「繋がる医療が地域を支える 連携の「今」と「これから」」 演者：関徹也 先生（上田薬剤師会 関薬局） (11:55～12:10) 演題：「上小メディカルネットとドクタージョイを利用した病院と薬局の連携について」 (12:10～12:30) 総合討論・全体講評 ＜コメンテーター：萱野勇一郎 先生＞
12:30～13:30 (60 分)	昼食（2-4 会議室、2-5 会議室）
【午後の部】	一般演題
13:30～14:30 (60 分)	口頭発表 5 演題 （詳細は下記参照） 座長：三村享 研究推進委員長（信州大学医学部附属病院） 鈴木英二 研究推進委員（県立こども病院）
14:35～15:55 (80 分)	ポスター発表 （詳細は下記参照） 司会：林美和子 学術委員長（岡谷市民病院）、他学術委員 〔2-1 会議室〕 8 演題 （P-01～P08） 〔2-2 会議室〕 9 演題 （P-09～P17）
16:00～16:15	閉会式/優秀演題表彰

■口頭 発表者及び演題名

- 1.河口菜桜（諏訪赤十字病院） 「整形外科手術および脊髄造影検査予定患者における休薬指導実施状況について」
- 2.塚田真伍（伊那中央病院） 「抗菌薬供給不足を乗り越えて適正使用につなげるための取り組み」
- 3.上條梨紗（県立木曽病院） 「病院から地域へ ― フォーミュラを通じた睡眠薬適正使用の推進―」
- 4.田端真理生（県立信州医療センター） 「長野県立信州医療センター薬剤部におけるポリファーマシー対策活動の実態調査」
- 5.太田早紀（信州大学医学部附属病院） 「がん化学療法副作用評価ツール導入による業務効率化と医療安全への効果」

■ポスター 発表者及び演題名

- P-01.数本直規（長野赤十字病院） 「尿路性敗血症患者に対する AST 介入症例を題材とした学生教育の有効性」
- P-02.小池真菜美（長野赤十字病院） 「身体拘束最小化チームにおける睡眠薬・抗精神病薬の適正使用に向けた薬剤師の取り組み」
- P-03.宮坂英徳（長野赤十字病院） 「当院血液内科における医師－薬剤師間コミュニケーションツールとしての Slack の有用性」
- P-04.藤森美音（諏訪赤十字病院） 「イリノテカンにおけるコリン様症状に対する抗コリン薬前投薬の有効性調査」
- P-05.北村真莉絵（長野赤十字病院） 「薬剤師不在 DMAT 班に対する医薬品管理指導とその課題」
- P-06.井出悠太郎（北信総合病院） 「心不全患者退院後のフォローアップに関する当院の取り組み」
- P-07.氣仙拓也（佐久総合病院） 「当院におけるプレアボイド事例共有の取り組み～ひろがれ！プレアボイドの輪～」
- P-08.秋月宗剛（富士見高原病院） 「進行する嚥下障害が薬剤による副作用であった症例」
- P-09.坪井徹也（飯田市立病院） 「院外処方箋における疑義照会簡素化プロトコルの運用状況と有用性の評価」
- P-10.戴原奈夏子（伊那中央病院） 「ケイツーシロップ指導の動画化による業務改善」
- P-11.岩本有紀（信州大学医学部附属病院） 「病棟配置薬をレンボレキサントとしたことによる睡眠薬の処方への影響および入院患者の転倒・転落発生率の変化」
- P-12.山岸大輝（新生病院） 「中小病院における高齢者薬物療法に対する現状把握と取り組み」
- P-13.高見澤誠（佐久医療センター） 「急性腎障害の回復過程においてセフトタキシムとセフトリアキソンを段階的に使用し、抗菌薬関連脳症の兆候なく治療し得た中枢神経系感染を伴う感染性心内膜炎の 1 例」
- P-14.田中宏治（篠ノ井総合病院） 「手術室専任薬剤師業務の取り組みにおける実態調査～周術期薬剤業務に関するアンケート調査結果～」
- P-15.宮下竜雅（県立こども病院） 「在宅中心静脈栄養患者のカテーテル関連血流感染症と季節性に関する一考察」
- P-16.藤森七海（篠ノ井総合病院） 「吸入指導の統一化に向けての検討」
- P-17.窪田すみれ（県立木曽病院） 「木曽地域における薬薬連携 ～小さい地域だからこそできること～」

■ 問合せ先：（一社）長野県病院薬剤師会 学術部 部長 清原 健二

（富士見高原医療福祉センター富士見高原病院）

連絡先 TEL 0266-62-3030（代表） E-mail kiyoken61@gmail.com

■ 認定単位：日病薬病院薬学認定薬剤師制度

【午前の部】領域Ⅲ-2 1.5 単位 【午後の部】領域Ⅱ-6 1.5 単位 です。

なお、都合によりプログラムの内容・講師が変更となる場合がありますので、ご了承ください。

主催：（一社）長野県病院薬剤師会